

経口用セフェム系抗生物質製剤

# 日本薬局方 セファクロル細粒 セファクロル細粒小児用10%「JG」

## 1日投与量体重別早見表

### 効能・効果

〈適応菌種〉

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス・ミラビリス、インフルエンザ菌

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱

本剤1g中

セファクロル100mg(力価)を含有

### 用法・用量

通常、幼小児にはセファクロルとして**体重kgあたり1日20～40mg(力価)**を3回に分割して経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状等に応じ適宜増減する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。

〈参考〉セファクロルカプセル250mg

通常、成人及び体重20kg以上の小児に対しては、セファクロルとして1日750mg(力価)を3回に分割して経口投与する。  
重症の場合や分離菌の感受性が比較的低い症例に対しては、1日1500mg(力価)を3回に分割して経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状等に応じ適宜増減する。

体重	1日投与量(分3)				体重
	細粒として	セファクロルとして 20mg(力価)/kg/日	細粒として	セファクロルとして 40mg(力価)/kg/日	
4kg	0.8g	80mg	1.6g	160mg	4kg
5kg	1.0g	100mg	2.0g	200mg	5kg
6kg	1.2g	120mg	2.4g	240mg	6kg
7kg	1.4g	140mg	2.8g	280mg	7kg
8kg	1.6g	160mg	3.2g	320mg	8kg
9kg	1.8g	180mg	3.6g	360mg	9kg
10kg	2.0g	200mg	4.0g	400mg	10kg
11kg	2.2g	220mg	4.4g	440mg	11kg
12kg	2.4g	240mg	4.8g	480mg	12kg
13kg	2.6g	260mg	5.2g	520mg	13kg
14kg	2.8g	280mg	5.6g	560mg	14kg
15kg	3.0g	300mg	6.0g	600mg	15kg
16kg	3.2g	320mg	6.4g	640mg	16kg
17kg	3.4g	340mg	6.8g	680mg	17kg
18kg	3.6g	360mg	7.2g	720mg	18kg
19kg	3.8g	380mg	7.5g	750mg	19kg
20kg	4.0g	400mg			20kg